

県民の皆様へ 広島県歯科医師会からのお願い

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、緊急事態宣言が発令された中、県民の皆様は不安な日々をお過ごしのことと存じます。

歯科医師・スタッフにとって感染リスクが高いとされる歯科医療現場ですが、私たちは新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前から、ウイルス感染対策（肝炎・エイズ等）を行っております。現在のところ、我が国では、歯科治療を通じて歯科医師や歯科衛生士から患者さんへ感染した事例の報告はありません。

- 歯の痛みを我慢すると、食事が摂れなくなり、体力・免疫が落ちてしまいます。
- 糖尿病や人工透析中など持病がある方は、歯周病の悪化が全身状況の悪化につながる可能性が高くなります。
- 口の中が不衛生だと、細菌性の肺炎リスクが上がり、新型コロナウイルス性肺炎に罹患した際、重症化しやすいことが知られています。
- 介護現場等での口腔環境の悪化は、特にリスクを高めます。

今は、誰もが新型コロナウイルス感染症にかかる可能性がある時だからこそ、命を守るためにも、口腔ケアが大切です。

診療の継続・延期、メンテナンスの継続・延期など、ご自身での判断をなさらずに、ぜひかかりつけ歯科医にご相談ください。来院いただくことが難しい場合は、電話等により診療を行い、お薬を処方することなども可能です。

現在の歯科医療の現場は、消毒液やマスクなどの医療資材不足や、新型コロナウイルス感染症に関する新しい知見を踏まえた、より高度な感染防止対策を講じるため、一時的に診療内容の制限や休診などを行わざるを得ない状況もあります。

しかし、今後も私たち歯科医師は、県民の皆様に安全・安心な歯科医療体制を提供するために頑張っております。

2020年5月1日

一般社団法人 広島県歯科医師会